【オーラルヒストリー（証言映像）】

・証言映像のみの貸し出しも実施しています。

・各編ともに、ＤＶＤ版・ブルーレイ版の貸出ができます。

・映像のみの貸し出しの場合には、下記の6テーマ・９種類から選択できます。

・貸出キットには、総集編パート１と総集編パート２が同梱されています。

＜映像のみの貸し出しの問い合わせ先＞

昭和館　映像・音響室　０３―３２２２―２５７４

Ａ　疎開体験編			
在住	タイトル	お話の主な内容	時間
パート１　A1			
東京都	疎開での苦労と空襲の恐怖	・19 年 8 月に学童疎開、寺や屋外で授業をした。 ・20 年 5 月の空襲で被災。姉妹で戸越公園へ逃げたときの様子、戸越公園隣の小学校が燃えるのを見ながら、一夜を明かす。	15分15秒
東京都	お寺での学童疎開	・ 昭和 19 年 8 月より 21 年 3 月までの埼玉県菖蒲町（現 久喜市）での学童疎開の体験。	9分45秒
東京都	下館県立高等女学校での思い出	・疎開中、農作業の手伝いをした時の体験。 ・疎開先の女学校に兵隊が来て、くぎ抜きの作業をしたり、山で開墾作業をした	9分40秒
神奈川県	疎開・空襲・占領体験を越えて	・疎開体験（いじめ） ・5 月 29 日の横浜空襲体験 ・終戦の思いと、戦後の生活について	14分43秒
神奈川県	父の郷里へ縁故疎開	･父の出征見送りの様子 ･縁故疎開先での生活や苦労体験 ･父の戦病死の報を受けた時のこと	14分06秒
千葉県	疎開と食糧難の時代を体験して	・疎開先の小学校での体験 ・一家を支えるためヤミ米を売ったり、小学校を出てすぐに働き始めたこと	12分31秒
沖縄県	対馬丸から生還した少女	・乗船していた対馬丸が魚雷を受け沈没していく時の状況 ・遭難、姉との別れ、筏に乗り漂流を続けた数日間	13分08秒
パート２　A2			
東京都	３度の学童疎開	・家族と離れて、山形県西田川郡温海町（現 鶴岡市）へ集団疎開 ・山形県内で疎開地を2度変え、三か所目の疎開地で終戦を迎えた	12分14秒
山形県	２４人の疎開児童を迎えて	・自宅の寺で、疎開児童たちを受け入れた ・疎開児童たちと戦後も交流した	6分55秒
東京都	鶴岡での疎開生活	・親元を離れて、山形県鶴岡で集団疎開生活 ・再疎開先に妹が疎開し、一緒に生活した４か月	10分41秒
東京都	身延への集団疎開と焼け跡の東京	・山梨県身延の旅館での集団疎開生活 ・遠足気分で疎開先に向かい、すぐにホームシックになった	14分20秒
東京都	疎開先で病気に・・・	・群馬県四万温泉で集団疎開生活 ・食事やいじめ、病気かかった体験	13分50秒
東京都	疎開先、新井町での思い出	・新潟県新井町（現 妙高市）でお腹を空かせた集団疎開生活 ・戦後も疎開先と交流し、記念品などを贈った	13分06秒
東京都	10歳の少女の疎開と戦中・戦後の生活	・群馬県草津温泉での集団疎開生活 ・寂しさにたえられず脱走し、連帯責任で罰を受けた	15分27秒
東京都	二度の疎開と空襲、戦後の学生生活	・山梨の料亭で集団疎開生活 ・香淳皇后のビスケットを東京の家族へ送った	20分58秒
東京都	戦後58年目の卒業式	・妹と一緒に千葉県市原村（現 市原市）での集団疎開生活 ・東京大空襲でできなかった国民学校の卒業式を実現した	15分33秒
東京都	戦時下から復興へ	・長野県別所温泉での集団疎開生活 ・自分たちでしなくちゃいけないお掃除と洗濯	19分15秒

B　空襲体験編			
在住	タイトル	お話の主な内容	時間
パート1　B1			
東京都	ふたつの大空襲	・２月25日から26日にかけての神田地区での空襲体験 ・３月10日の大空襲を見たときの様子	9分43秒
東京都	言問橋のたもとで	・３月10日に言問橋の下で被災した体験 ・その後ご本人が見た被災地の悲惨な様子	13分47秒
東京都	空襲の被災と行商生活	・立川空襲で母を亡くした時の様子 ・戦後、かつぎ屋をした体験	14分03秒
神奈川県	全てを奪った空襲	・5月29日の横浜空襲時の様子 ・空襲直後の生活と、終戦後の苦労体験	15分26秒
千葉県	千葉市空襲の惨状と戦後	・千葉市空襲の体験	9分31秒
栃木県	火傷を負った空襲	・宇都宮空襲当日の状況 ・空襲で火傷を負い、病院を転々とした体験	10分44秒
東京都	自分ひとりじゃないから・・・	・前橋をはじめ各地での空襲体験 ・夫が戦死した際の様子	12分35秒
新潟県	我が子を奪った長岡空襲	・８月１日､長岡空襲で長女を亡くした体験	13分12秒
福井県	福井空襲を語り継ぐ	・20年７月、郵便局で勤務中に福井空襲を体験 ・空襲を語り継ぐボランティアをしている	11分35秒
パート2　B2			
東京都	家族を奪った空襲　悲劇は忘れない	・６月１７日の鹿児島大空襲で家族７人を亡くし、ひとりで家族の通夜を行った	11分26秒
東京都	東京大空襲、言問橋の惨状	・３月１０日の東京大空襲での体験。 ・一家で埼玉県の長瀞町へ疎開	13分51秒
大阪府	大阪と神戸、２度の空襲を乗り越えて	・集団疎開先から戻り、3月14日の大阪空襲にあう ・岡山へ疎開するため、途中の神戸三宮駅で神戸大空襲に巻き込まれる	14分44秒
鹿児島県	機銃掃射で負傷した中学生	・８月１３日鹿児島の加治木空襲で機銃掃射により大けがを負う ・物資が不足する中での辛い治療に耐えたが、その後も傷痕に悩まされた	15分45秒
埼玉県	加治木空襲を生き延びた中学生	・８月１３日鹿児島の加治木空襲での様子	16分38秒
東京都	師範学校での勤労動員、空襲の体験	・千葉県下志津の飛行場や神奈川県横浜市の工場へ勤労動員 ・東京大空襲直後の焼け跡を、同級生を探して歩いた体験	15分05秒
香川県	高松空襲	・７月４日の高松空襲を体験 ・防火活動のために避難することを拒否した父を残し、防空壕に逃げこんだ	22分37秒
東京都	１０代の太平洋戦争＜東京大空襲編＞	・３月１０日の東京大空襲で、迫りくる猛火の中を逃げまどい生きのびた ・船に助けられて、溺れている人を救助する	20分53秒

C　総集編			
在住	タイトル	お話の主な内容	時間
パート1　C1			
新潟県	我が子を奪った長岡空襲	・８月１日､長岡空襲で長女を亡くした体験	13分12秒
東京都	言問橋のたもとで	・３月10日に言問橋の下で被災したときの様子 ・その後ご本人が見た被災地の悲惨な様子	13分47秒
神奈川県	疎開・空襲・占領体験を越えて	・疎開体験（いじめ） ・5月29日の横浜空襲体験 ・終戦の思いと、戦後の生活について	14分43秒
東京都	残された妻と息子への想い	・19年２月に結婚、翌月の夫の出征、翌年夫の戦死、その後に生まれた子供を抱えた生活 ・息子の父への想い	14分29秒
栃木県	女子挺身隊と戦後の苦難	・昭和19年国谷飛行学校に女子挺身隊として勤めた時の体験 ・宇都宮空襲後のバラック生活や食糧難	13分09秒
埼玉県	顔に怪我を負って	・昭和20年４月より、沖縄本土の米軍上陸が厳しくなり、島南方へと避難する際の体験 ・空爆を受けて顔面に負傷した時の体験	15分48秒
神奈川県	農業で生きる	・終戦、シベリヤ抑留生活の体験から帰国まで ・帰国後、実家の農業を継いで生計を立てる ・遺骨収集の体験談	11分20秒

東京都	中学生が見た戦後の東京	・昭和21 年３月に疎開先から戻ってきたあとの、東京（靖国神社界隈、進駐軍のカマボコ兵舎など）の様子	15分59秒
パート２　C2			
東京都	焼け跡からの出発	・戦後、縁故疎開先から焼け跡の東京へ帰る ・青空の下で父の商売を手伝い、独学で勉強する	11分55秒
長野県	満洲から母子５人で引揚げ、そして戦後の苦労	・開拓団の一員として満洲へ渡り、終戦後に避難途中で父を亡くし、満洲から母子５人で引き揚げた	13分16秒
愛知県	戦中・戦後の母との暮らし	・出征した父は昭和１９年にサイパンで戦死し、疎開や引っ越しで家を転々として、遺児として苦労した体験	14分15秒
長崎県	母の苦労と遺児としての暮らし	・父は昭和１８年に出征し、セレベス島で戦死した。残された母はひとりで2人の娘を育てた。母の労苦と戦没者遺児としての戦後の生活を語る	24分44秒
沖縄県	戦後の沖縄を生きて	・父の戦死を乗り越え、終戦後から米軍統治下での沖縄の復興の様子と慰霊活動の継承の思いを語る	16分24秒
鳥取県	母を支え懸命に生きる	・出征した父は、東部ニューギニアで戦死した。残された母子4人での戦中・戦後の暮らしは厳しかったが、懸命に努力し人生を切り開いた	17分40秒
岩手県	困難をバネにして	・父が出征し、母が幼い子どもたちとの生活を支えた。父のいない寂しさをバネに大学へ入学、高校教員の夢を叶えるまでの苦労、慰霊巡拝の体験を語る	21分24秒
東京都	１０代の太平洋戦争＜終戦日までの日々編＞	・東京大空襲を生き延び、その後茨城県下妻市、群馬県、新潟県長岡市に疎開し、終戦を迎えた	19分40秒

D　戦災孤児編

在住	タイトル	お話の主な内容	時間
埼玉県	孤独との戦いの日々	・疎開先より東京に戻ったが母と姉妹の安否不明であったため、叔父の家に引き取られ、さらに奈良に疎開した	14分59秒
東京都	東京大空襲と私の戦後	・東京大空襲で両親と離ればなれになり、祖母の家で両親の死を知る ・疎開先から戻った兄と3人で、転々とした親類の家ではいじめにあう。	16分18秒
埼玉県	野良犬と呼ばれた子どもの生きざま	・２度の神戸空襲で両親を失い、浮浪児として神戸から東京、そして長野県松代の孤児収容施設へ。戦災孤児として必死に生きた日々を語る	21分42秒
東京都	逃げ出した三姉弟の行く末	・千葉県に集団疎開していたが、東京大空襲で両親が死んだと告げられた。 ・残された3姉弟は、預けられていた大家族の親類の家を逃げ出した	14分10秒
神奈川県	両親を失った姉妹の戦後	・姉は東京大空襲で大やけどを負い、妹は疎開先に迎えに来た兄から両親の死を知らされた。バラバラに親類の家に引き取られ、妹は逃げ出して上野の街をさまよった	18分45秒
埼玉県	私にも家族があった！	・家族と離れ祖母の家へ縁故疎開をしていたが、東京大空襲を知り、家族が来るのを待ち続けた。数年後、両親の所在を確かめに東京へ行くが何もなかった	13分15秒
兵庫県	誰にも頼らず生き抜いて	・集団疎開先で母親と妹が昭和２０年３月の神戸大空襲で亡くなったことを知る ・働きながら大学に進学するが、両親がいないことで辛い思いをする	9分24秒

E　勤労動員・学徒出陣編

在住	タイトル	お話の主な内容	時間
東京都	疎開先での勤労動員と戦後の神田	・学校工場で兵器の部品を作った ・長野県別所温泉へ学校工場が疎開するので、親元を離れて一緒に移動した	9分55秒
神奈川県	動員学徒の青春	・中島飛行機武蔵製作所に動員となり、大変辛かったのは徹夜での作業 ・度重なる空襲で工場も自宅も被災し、やがて応召となる	10分55秒
東京都	復員後、ハチ公像の再建	・渋谷駅前の忠犬ハチ公像の制作者は、大学時代に出征した ・出征見送りの様子	10分12秒
東京都	14歳で体験した空襲と原爆	・中学校に入学するも授業はなく、昭和19年からは工場に動員された ・工場での空襲体験や東京大空襲の焼け跡で見た光景	27分11秒
東京都	３度の空襲と食糧難	・旧制中学3年生のとき、学徒勤労動員で工場の作業に従事 ・作業中実家が空襲で被災したことを知る	12分58秒
東京都	10代の太平洋戦争＜中学校編＞	・勤労動員として軍需工場で弾丸の検査作業した体験 ・作業中にも空襲があり、防空壕へ避難した	14分53秒
宮城県	大学生活と学徒出陣	・昭和１８年１０月明治神宮外苑競技場で行われた「出陣学徒壮行会」では専修大学の旗手を務めた ・戦争協力体制の中に取り込まれていった大学生活を語る	24分30秒
宮城県	嗚呼 悲しき青春	・修業年限の短縮により昭和１９年９月に大学を卒業し、就職した ・陸軍予備士官学校に入校したが、在学期間が短縮されて、急遽軍隊へ配属され、学徒兵としての軍隊生活を語る	18分22秒

F　戦没者の妻・子編			
在住	タイトル	お 話 の 主 な 内 容	時間
滋賀県	信じられなかった夫の戦死	・夫は昭和１８年１０月に出征した。終戦後、義父母と息子２人とともに無事の帰還を待っていたが、昭和２１年１月に戦死の知らせが届く ・いまでも心の中で夫に語りかけている	10分45秒
徳島県	母の苦労と父への想い	・昭和１８年に父は戦死した。母は三人の子どもを育てるため身を粉にして働き、子どもたちも精一杯手伝った。	13分25秒
群馬県	半年きりの夫婦生活、手紙がつないだ父の想い	・結婚半年後に戦地へ、夫はそのまま戦病死する ・娘とともに戦中戦後の体験を語る	12分33秒
北海道	母子で支え合った戦中・戦後	・夫は昭和１７年に戦死し、母子は支え合って戦中・戦後を生き抜いた	14分34秒
香川県	亡き夫と子どもと共に	・長男を出産した直後に夫に召集令状が届き、生まれて間もない子どもを連れて夫の出征を見送る。懸命に働き子どもを育てた。	22分18秒
沖縄県	母とくぐりぬけた沖縄戦	・10人家族で育ち、父親は戦況が厳しくなる中、防衛隊に召集された ・沖縄南部を目指して逃げ回る日々 ・生き残った母と兄弟と一緒に米軍に投降し、収容所へ	25分22秒
長崎県	戦死の日に見た夫の夢と我が子への想い	・手伝いをしていた伯父の病院で夫と出会い、結婚した。昭和１７年に長男を出産、夫は昭和１９年６月に再召集され、夫が戦死した日に夫の夢を見る ・その後の暮らし、原爆の体験、息子への想いを語る	15分22秒
埼玉県	親子で耐えぬいた戦中・戦後	・満洲のチチハルで生まれた。３歳の時に父が戦死し、移り住んだ埼玉の母の実家での生活は苦労の連続だった	16分06 秒